

# 自己評価表

教育方針	徳・知・体の調和のとれた健全な心身の発達を目指し、個性豊かな人間の育成を期する。	重点目標	1 温かい人間性と豊かな社会性を身に付けさせる。 2 高い知性と豊かな創造性を養う。 3 強い意志とたくましい体力を培う。
------	--	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方針
温かい人間性と豊かな社会性	基本的な生活習慣の確立	友情と思いやりの心を育み、マナーの守れる生徒100%を目指します。	A	目標の100%には到達していないが、概ね他を尊重し、思いやりのある生徒が育っている状況である。	豊かな心が育成されるよう、様々な方法で働きかけるとともに、マナーの重要性をあらゆる機会をとらえて伝えていきたい。
	安心・安全な学習環境の確保と心身の健康	自他の生命を尊重する態度を身に付けさせるとともに、交通事故ゼロを目指します。	B	生命尊重の態度は概ね身に付けているが、交通マナーや交通ルールの遵守には、改善の余地がある。	交通事故ゼロを達成するために、年度当初より継続した啓発活動を行ってきたい。
		「心の悩み」解消をサポートし、学校生活に充実感の持てる生徒100%を目指します。	B	諸検査やアンケート及び追跡の結果の、特に追跡を丁寧にすることで、悩み解消のサポートに取り組んだ。	諸検査や学校生活アンケートを十分に活用し、慎重に追跡を重ねることで悩みの早期発見、情報の共有に一層努めたい。
		保護者・地域に支えられた学校として、PTA総会出席率40%、保護者懇談会出席率100%を目指します。	B	総会日に陸上競技大会が実施され、保護者出席者は336名で、出席率は36%になり、昨年よりも上昇した。保護者懇談会は例年通り高い出席率を維持している。	各学校行事については、早期に保護者、地域へ案内するとともに、一層の情報発信に努め、開かれた学校づくりを進めたい。
		安心して活動できる学校を維持するための防災教育や環境教育を充実させます。	B	シェイクアウト訓練、防災避難訓練を2回ずつ実施した。11月26日、授業中に起こった地震では、生徒は素早く適切な行動がとれた。	自然災害や南海トラフ巨大地震等から命を守るため、学校防災体制の見直しや防災教育の推進を実施していきたい。
高い知性と豊かな創造性	学ぶ意欲を高揚させる教科指導の充実 (授業改善への取組み)	ICTの活用などにより、主体的・対話的で深い学びを積極的に取り入れ、授業満足度100%を目指します。(「授業に関する生徒評価」4.8ポイント以上)	B	授業に関する生徒評価は、全体平均4.8ポイントと目標を達成できた。昨年度よりポイントが上昇した項目も多かった。	授業満足度100%を目指し、さらに、切磋琢磨したい。
	自ら学び自ら考える力を育てる家庭学習の充実	確かな学力の定着を図るために、課題の与え方を工夫し、家庭学習1日平均4時間以上を目指します。	B	家庭学習時間は、3年生が通年5時間、1・2年生は考査発表中が4.7時間、平常時が3時間であった。	学習への内的動機づけができるような工夫をした。
	読書活動の推進と思索する態度の育成	年間1回以上のクラス読書会、2回以上の全校読書会、全学年による朝読書を実施します。 「螢雪ライブラリー」の活用、読書レポート・読書感想文などの実施を通して、より高いレベルで読書し思索する態度を育てます。	B	全学年による朝読書は各学年団の指導により概ね良好であった。年2回の校内読書会は充実しており、秋の読書週間には昨年に引き続き啓発放送も実施した。国語科を中心に読書レポート・感想文も推進した。	引き続き全学年での朝読書を実施したい。各教科・ホームルーム活動・図書館だより・図書館読書会などでの学習活動や啓発により、読書の質・量のさらなる向上を図りたい。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
強い意志とたくましい体力	特別活動の充実と連帯感の醸成	学校行事や生徒会活動などの特別活動を盛んにし、たくましい心と体を育てます。 ボランティア活動への参加を促し、「共生」の心を育てます。	A	生徒一人ひとりが積極的に参加し例年以上に盛り上がる行事が行えたように思われる。特に運動会は安全に留意し充実していた。学年を問わず過去最高であったという感想が多く生徒会も満足していた。	3年に一度の文化祭が開催されるに当たり、生徒会中心に準備を早めに進め、新学期になって慌てない組織づくりを行いたい。 創立120年に向けての校内の整備に努めさせたい。
	部活動の充実と心身の健やかな成長	部活動加入率100%を目指し、生き生きとした学校生活を送れる環境づくりに努めます。(全国大会出場7部以上)	A	部活動加入率はほぼ100%であり、生徒全員がレベルの高い文武両道を心掛けていた。ハンドボール部男子がインターハイ出場するなど運動部文化部ともに活躍した。	全国大会出場を運動部文化部ともに目指し、7部以上の部が出場できるように環境を整備し、あるもので工夫をし素晴らしい設備施設を構築させたい。
		「部活動の在り方に関する方針」に基づいて、適切な活動を行います。	A	計画通り活動を行い、安全に留意をし健全な部活動運営ができた。	方針を顧み、より素晴らしい部活動になるよう検討させたい。
	人権・同和教育の充実と豊かな心の育成	人権尊重の意識を更に高め、差別解消への実践力を高めます。	B	ホームルーム活動・人権アゼンブリー・講演会・人権委員会活動等を通して生徒たちの人権感覚磨きのサポートに努め、その成果も十分にみられるが、本当にその人の立場になって考え、差別をなくしていく将来の実践力が身に付いているのかという難しい。また、講演会では保護者参加数が昨年は一昨年の倍増、今年は昨年の1.5倍増していた。家庭・地域との連携が大切なので、来年度も続けていきたい。	中学校授業参観や異校種間研修会などには、クラス担任の先生方に参加していただいている。さらに、自ら参加したいといえるような、校内での人権意識の高い雰囲気築いていきたい。
夢の実現	進学指導の充実と進路意識の醸成	自己実現・進路実現100%を目指します。(国公立大学合格率70%以上、国公立難関大学合格60名以上)	C	推薦・AO入試では、低学年からの計画的な進路指導の結果、一定の成果が上がった。難関大学については、東京大、京都大、国公立大医学部医学科をはじめ、例年同様の合格者を輩出することができた。	主体的・対話的で深い学びによる授業改善をより進化させ、思考力・判断力・表現力を高めることで、大学入学共通テストをはじめとする新入試に備えたい。
		高大連携を深め、視野を広げ、学びへのモチベーションを高めます。	A	オープンキャンパスツアーや、他校との合同学習合宿等の実施により、高大連携を深め、自己実現を目指して主体的に学習に取り組む生徒の育成を図ることができた。	Glassiと螢雪キャリアノートを効果的に活用させることで、生徒が自らの学びを蓄積し、自己実現に繋げられるシステム作りを完成させたい。
		「西高に入学してよかった」と思う生徒100%を目指します。(「学校評価(生徒評価)」4.5ポイント以上)	B	生徒評価は4.4ポイントで、昨年度と同じであった。学年ごとでは、1年生4.5、2年生4.3、3年生4.5で、2・3年生は昨年度よりも充実度が増している。	新入試を見据え、多様な取組を通して進路意識を高揚させることで、学業や学校生活の意義を実感させ、更なる結果の上昇につなげたい。
学校管理	開かれた学校づくり	ホームページに毎日の生徒の活動や連絡事項を掲載するなどして情報発信に努めます。	B	新デザインのホームページとなり、より見やすく、生徒の活動の様子などを発信することができた。	更新頻度を上げたり、より幅広く学校の様子が伝えられるよう、工夫したい。
	安全管理	情報の適切な保管・管理に努め、事務処理の適正化を徹底します。	B	校務系、学習系の2系統での運用については、おおむね良好に運用できている。	情報の分類や、共有の方法については更に改善できるところがある。改善していきたい。
		施設・設備の安全点検、改修を徹底し、事故の防止に努めます。	B	毎月の「点検の日」及び4月・9月・1月に校内安全点検を行い、補修箇所を特定して可能なところから修繕している。また、保全に緊急性のあった2号館外階段の剥落(応急措置のみ)及びブロック塀の一部改修を行った。	補修箇所の有無を、職員間での連絡を密にし、迅速かつ適切に対応していきたい。大規模改修となる部分については、予算措置の方法を検討し、早期改修に努めたい。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。